

令和6年度 長野県池田工業高等学校 【定時制】 学校評価表

86 長野県池田工業高等学校 定時制

学校教育目標	自らの力で問題を解決する実践力と地域に貢献できる創造力豊かな人づくりを目指す
重点目標 (長中期的目標)	<ul style="list-style-type: none"> <li>個性や能力を伸ばし、安全で安心して学べる学校づくりを進める</li> <li>地域との連携を図り、地域に根ざした学校づくりを進める</li> <li>生徒の自立を促し、一人ひとりの能力の開発と基礎学力の定着を図る</li> </ul>
今年度の重点目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>生徒にとって自己肯定感、自己有用感が持てる居場所のある学校づくりを目指す</li> <li>家庭、および関係機関との連携を密にし、きめ細かな教育活動を行う</li> <li>生徒の自立を支援しながら、基礎学力の定着を図る</li> <li>生徒一人ひとりの人権を尊重し、いじめなどない安全・安心な環境づくりに努める</li> </ul>

領域	対象	評価項目	評価の観点	評価 (A・B・C)	コメント (なるべく具体的に)
教務	教	①学習活動や行事運営の円滑な推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>各種行事や総合的な探究の時間について年間計画を作成し、円滑な実施ができたか。</li> <li>生徒一人ひとりが落ち着いて学習に取り組める環境を整えることができたか。</li> </ul>	B	今年度は、計画通りより多くの行事を実施できた。総合的な探究の時間も計画通り行うことができた。来年度も生徒が主体性をもって、行事ができるように環境を整えていきたい。
		②安全対策の強化	<ul style="list-style-type: none"> <li>危機管理マニュアルを周知・理解することができたか。</li> <li>安全確保ができるよう避難訓練等の実施を工夫できたか。</li> </ul>	A	安全対策に努め、生徒に日々注意を促した。今後も、天候不順時や暗闇での登下校の安全に注意を喚起したい。日々の健康観察に努めた。地震による出火を想定した避難訓練を5月と10月に実施した。
		③基礎学力の定着	<ul style="list-style-type: none"> <li>魅力ある授業展開をし、生徒個々に対応し配慮された教科指導がなされたか。</li> <li>社会生活を送る際に必要となる基礎学力の定着がなされたか。</li> </ul>	A	ICT機器の活用等、各教科で工夫を凝らし、基礎学力の定着を含め、生徒個々の学習を支えるような教科指導ができた。今後も生徒個々へのきめ細やかな対応に努めたい。
		④教育課程	<ul style="list-style-type: none"> <li>定通併修や高卒認定試験等、学校外における学修成果の認定を積極的に行い、学校設定科目や個別指導により、生徒の多様な進路希望への対応がなされたか。</li> </ul>	A	本年度は定通併修制度を利用している生徒がいる。3年での卒業を目指して頑張っており、職員もバックアップして併修制度を進めていきたい。
生徒生活	生徒生活	①安全・安心な学校生活の実現	<ul style="list-style-type: none"> <li>登校指導や校外指導を行い、問題行動の未然防止・早期発見に努めたか。</li> <li>成年年齢引き下げによる重要な権利とそれに伴う責任を周知させることができたか。</li> <li>登校指導・講話・掲示物等を通じて、交通事故防止の啓発に務めたか。</li> </ul>	B	生徒の現状を常に把握し、家庭との連携を深め協力しあいながら、報告・連絡・相談を怠らないように留意したい。学校に楽しく登校してもらいながら、今後、社会生活で大切なマナー・挨拶などを職員全体で粘り強く指導していくことに努めたい。
		②いじめ防止・不登校への支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>いじめが重大事案に発展することなく、早期発見できる生徒・保護者との関係を築けたか。</li> <li>仲間の思いのわかる集団作りを進めることができたか。</li> </ul>	A	生徒面談・保護者懇談・SCの活用等により、重大事案はなかった。また養護教諭による保健室でのタイムリーな相談により、生徒の様子について、素早く職員間で情報共有ができた。引き続き素早い対応に努めたい。
		③教育相談活動	<ul style="list-style-type: none"> <li>生徒、家庭の抱える課題について相談にのり、教育相談、カウンセリング事業が積極的に活用できたか。</li> <li>不登校生徒への細やかな支援ができたか。</li> </ul>	A	年度の初めに全員面談を実施し、全生徒がSCと顔合わせをして、相談しやすい環境づくりをした。定期的に全員面談を実施し、SCから客観的意見を頂いた。
進路指導	進路指導	①個に応じた進路指導	<ul style="list-style-type: none"> <li>保護者との共通理解のうえで、生徒の希望、適性、能力に応じた進路選択の支援ができたか。</li> <li>ハローワークとの連携を密にし、進路情報を</li> </ul>	B	生徒の希望に沿いながら、保護者と連絡を密にして進路選択を進めている。生徒一人一人の状況が異なるため、個別に丁寧な対応に努めている。
		②キャリア教育	<ul style="list-style-type: none"> <li>社会的、職業的に自立する基礎的、基本的な力を育てるために、職場体験やライフスキルトレーニング等を通じて有効な指導や支援を行うことができたか。</li> </ul>	A	職場体験は事業所との連絡を密にし、生徒の希望に沿った体験を実施した。また、年2回の進路学習、学年ごとのライフスキルトレーニングを実施し、自己理解を深めるとともに、キャリア発達を促す基礎力を養うことができた。
生徒生活	生徒生活	①「自主的活動」の重視	<ul style="list-style-type: none"> <li>多くの生徒会行事において、生徒たち自ら、企画・運営を進められるよう、指導や工夫ができたか。</li> </ul>	B	多くの生徒会行事において、変革を行った。そのなかで、生徒同士の交流する機会により増えて良かった半面、意見が食い違うこともあった。今後、改善していきたい。
		②クラブ活動の振興	<ul style="list-style-type: none"> <li>生徒が競技力向上を目指す環境づくりができたか。</li> <li>生徒との信頼関係を築き、互いに助け合い、高め合えるよう、支援できたか。</li> </ul>	A	大会に出ることはなかったが、部員数も増加し、放課後の短時間であっても、活動が活発になり、昨年度以上に良いものとなった。
学校環境の整備	学校環境の整備	①保健教育・保健管理	<ul style="list-style-type: none"> <li>健康診断、健康教育を通して、生徒一人一人が自分の身体と健康に関心を持ち、生涯にわたって心身ともに健康な生活を送るための取り組みがなされたか。</li> </ul>	B	歯科検診において受診勧告対象となる生徒が数名いたが、健診直後に通知をしても受診に繋がりにくい現状があった。長期休暇を利用して受診出来るよう、保護者懇談で生徒やその保護者にも再度通知を出し受診を促した。保健だよりを通じて自分の体や心に興味関心を持ってもらえるよう、定期的に発行した。
		②保健衛生	<ul style="list-style-type: none"> <li>夜間の学校生活に対する安全衛生の管理点検と、校舎内外の美化、整理整頓がなされ、学習環境が良好に整えられたか。</li> </ul>	B	日頃の点検に加え、学校医とも連携しながら学習環境についての整備ができた。冬季の換気が不十分であるときもあったので、感染症対策も含めて授業ごとのこまめな換気呼びかけしていきたい。
		①保護者に対する説明責任	<ul style="list-style-type: none"> <li>学習活動の状況や学校の指導方針、学校での生徒の様子などについて、保護者に十分な説明責任をはたすことができたか。</li> <li>公開授業等を行ったか。</li> </ul>	A	公開授業（5月）や保護者懇談会（7月、12月）の実施を通して、保護者に学校の様子等を知っていただくことができた。また保護者アンケートを年2回実施し、その結果をオクレンジャーやHPを通して、保護者に効果的に知らせることができた。
		②地域社会への情報提供	<ul style="list-style-type: none"> <li>定時制の活動をホームページ等で積極的に中学校、地域に広報できたか。</li> <li>様々な機会を通じて地域との連携を図ることができたか。</li> <li>近隣の定通課程のもつ学校、各中学校、近隣市町村教育委員会、支援機関等との連携や意見交換を積極的に行い課題や問題点の共有がなされたか。</li> </ul>	B	職場体験や地域清掃、地域の伝統文化である相道寺焼の陶芸教室を実施することにより、地域の方々との連携を図ることができた。来年度も地域社会への情報提供を積極的に行っていきたい。
その他	その他	③学校、関係機関との情報交換と連携	<ul style="list-style-type: none"> <li>さまざまな会議への参加を通し、個々の生徒への対応について、定通課程の高校や支援機関と情報交換・共有をすることができ、生徒への支援につなげることができた。</li> </ul>	A	
		職員の資質向上	<ul style="list-style-type: none"> <li>校内外の研修会などに参加し、研修の成果や情報などを教職員間で共有できるように務めたか。</li> </ul>	A	年度当初、外部講師を招き、生徒支援のための研修をおこなった。来年度も気軽に情報共有ができ、それぞれがアップデートを図ることのできる研修の機会を増やしていきたい。